

歴女がゆく

発見！私のイチ押しパワースポット VOL. 2

重要文化財

天野山金剛寺 食堂

室町時代前期

どっしりとして奥行がある建物。ここで天皇が政治を行っていたなんてすごい！



見どころ ZOOM UP! + 唐破風

建築物の短辺側（妻側）の屋根に取り付けられた飾り。金剛寺食堂の場合、屋根の他の部分と材質をかえており、建物に趣を出している。ちなみに、天野山金剛寺の境内林には檜の林があり、檜皮が採取されている。



室町時代前期の建物とみられる金剛寺の食堂は、桁行7間、梁間3間の規模があり、入母屋造、瓦葺の屋根で、正面には檜皮葺の軒唐破風をつけています。後村上天皇は正平9年（1354）から正平14年（1359）まで、金剛寺の摩尼院を行在所とし、この食堂を正庁として政治を行々と伝えられています。このことから、別名として天野殿とも呼ばれています。前回紹介した観心寺金堂が折衷様の建築物であるのに対して、本建築物は和様の建築物です。



赤い忍之橋と川と桜の調和がとっても素敵でした♪



金剛寺の庭園は季節ごとに異なった表情が楽しめます（上）境内に流れる西除川は天野川とも呼ばれ、狭山池に続いています（下）

今月の歴女 梶本 優理恵さん

河内長野で育った私にとっては身近な金剛寺。静かな境内やお庭は、不思議と心が落ち着きます。子どもの頃は、サッカー少女で走り回っていた私ですが、しっとり大人モードで春の金剛寺を満喫しました！



河内長野駅からバスで「天野山」下車▶拝観料：大人400円、中学生200円、小学生100円▶伽藍には別途入山料▶午前9時～午後4時30分
※境内の金堂と多宝塔は、現在修復工事中です。

文化財トリビア ② 僧坊酒の醸造

室町時代から戦国時代にかけて金剛寺では、僧坊酒が醸造されており、豊臣秀吉を始めとする多くの名だたる武将に愛飲されていました。発掘調査によって酒造用のものと見られる大甕が出土しています。なお、大甕はくろまる館（高向2230-5 ☎64-1560）で一般公開しています。

